

旭ヶ丘

学園だより

No.1
編集・発行
高知高等学校
高知高等学校PTA
平成26年7月1日発行

発刊に当たって



学校長
森 暁

■はじめに

平成二十六年度もはや三ヶ月が過ぎました。土佐路はこれから夏に向けてまっしぐらというところでしょうか。保護者の皆様にはますますご健勝のことと存じます。

このたび、高知高等学校の（学校便り）として、「旭ヶ丘」が発行されることとなりました。発刊ができるようになったことを大変嬉しく存じます。年に二回程度です。学校からご家庭・保護者の皆様への情報提供はもちろんのこと、お互いの連携に寄与すること

ができればありがたいと考えております。内容についてもご期待に応えることができるよう改善を図って参ります。

■本年度高校総体で健闘

県の高校総体（県体）も水泳以外の競技が無事に終了し、本校は、十八団体の競技に出場、うち八団体が優勝に輝き、県内ナンバー一の成績を修めることができました。他にも、団体準優勝や個人種目の優勝・準優勝が輝いております。本校にとって自信と励みにつながる大きな成果であり、生徒諸君の日ごろの鍛錬と努力に心から讃辞を贈りたいと思えます。

また、指導に当たっている教員の尽力を讃えるとともに、ご家庭のご支援に深く感謝を申しあげます。続く四国大会や全国大会を視野に、さらなる躍進を期待しております。さて、学校生活における部活動の意義や大切さについては、機会

あるごとに触れてまいりました。二十六年度の本校の部活動加入率を覗いてみると、中学校では九十・八％を記録しておりますが、高校では七一・一％となっております。高校生の加入率をもう少し高くしたいと思うところです。部活動でこそ得られる価値がたくさんあるからです。文化部から運動部まで大きな選択幅がありますから、自分の生活リズムに合う部活動に是非参加して欲しいものです。間違ひなく、学校生活に興行きが増し、味が増えると思えます。

■四十五年ぶりに 出会った高知中高

本校は今年で創立百十五周年を迎えました。高知県の私学の中では最も長い歴史を誇っており、高校の卒業生は二万三千人を数えます。この校友が

♪♪ 黒潮おたる自由の土佐に・・・われらの声よ 遠くゆけ♪♪

と熱く歌い継いできたのです。私は、昨年四月、高知中学高等学校の校長として着任させていただきましたことになりました。私が生徒で

あつたのは四十五年以上も前のこと、時代も異なりますから、当然ながら学校の姿も異なっておりますが、じっくり眺めていると、この長い歴史が育んでくれた温かさや校友の輪は、後に続く私たちに大きく包んでくれていることがわかります。

しかしながら、今日、学校の課題はたくさんあります。生徒減少や公立高校の授業料無償化といった波が押し寄せるなか、高知学園という魅力は今一度どのように発信できるかが問われていると思っております。高知学園のことを、生徒諸君が「学園がもしろい」「厳しいけれども楽しい」と表現してくれる学校にしたい！誇りを持って校歌を高らかに歌える生徒を育てたい！そのためは、学びの姿にも変化が必要です。「文武」の「文」でしっかりと進路を主張できる生徒を育てていくことを考えなくてはなりません。「文武両道」の「文」が「武」を促し、「武」が「文」を促すようになることが理想です。すぐさまにはできないにしても、一人ひとりの中に、いつかこの重なりが意識されるようになれば、その人は必ず成長をとげ、大きな力となって社会に羽ばたくことができると思います。ご縁が重なって、こうして母校の校長という任に就くことになりました。重責を感じております。教職員ともこれまで議論を重ね、何となくして母校を活性化した

■昨年度からの いくつかの改善

い、保護者の皆様のご期待に応えることはもちろんのこと、校友の皆様喜んで頂ける学校にしたい」と、一丸となって仕事に向き合っているところです。ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

本校の生徒はよく挨拶をします。私は、生徒諸君に着任早々から、この「あいさつ」をグレードアップすることを求めました。出合いには、「きちんと顔を上げて」、「伝わる声で」、「笑顔で」、「これが私の気持ちです」と積極性が伝わる挨拶を」と機会あるたびに求めてきました。「近所の園児におはよう」と声がかかれる青年でありたい」とも。社会に一步を踏み出すときに、必ず問われるのがコミュニケーションの能力です。コミュニケーション能力の土台は挨拶です。人との出会いは、そのほとんどが最初に交わす挨拶の印象で決まるといわれます。家庭こそ、挨拶の道場です。できる限り言葉を交わす場でありたい。反抗期を迎え、いつこうに言葉が返ってこなくとも、保護者の皆様の声かけは、実はきちんとお子さんたちの耳に届いています。粘り強く続けていただきたいと思えます。今、生徒諸君は学校で大変気持ちよく挨拶をします。学校が明る

ごとに青葉ときそい緑こき」この5点から見えてくるもの全てにおいて生徒達と先生方の「笑顔」が見えてきたからであります。その笑顔を更に「UP」していきたい「すまいるUP」させていきたいとおもいます。

私達一人ひとりが笑顔で取り組む事が最初は小さな白い花でも黄色の実が鈴なりなうらなう事がまさに！笑顔で満ち溢れた「たちばな」の木のようになる事を祈念し私の会長所信とさせていただきます。

【事業内容】

- ・ 学校行事に対する積極的な参加
- ・ 学園祭やバザー、清掃活動など学校で行われる行事への参加
- ・ 各支部や保護者様との交流
- ・ 各支部への訪問、交流

各学年の目標と取り組み

《高1》

学年主任

岡本香奈

1年生はまず、中学生から高校生へ切り替えることから指導が始まりました。高知中出身の生徒でも、中学校と高校との違いを全て理解してきている訳ではありません。その違いを日々の生活の中で体験することにより、つかみ取っ

・ 各クラブへの訪問
各クラブでの取組などヒヤリングを行いそのクラブにおける思いや問題等を理解していく

・ 新入生増加に向けた取り組み
昨今の少子化の問題における生徒減少問題を学校側だけに任せるのではなく我々PTAも自分達の問題としてとらえ能動的に行動したいと思えます。

新入生とは体の仕組みで言えば血液です。毎年新しい血液を入れていった、からこそその百一五年の歴史であり、この問題から逃げていては一五〇年、二〇〇年とつなげていく事は出来ません。

この事を学校とPTA一丸となり取組みたいと考えます。

ている段階です。

学年全体の雰囲気は「元氣・活発」という言葉が第一に浮かびますが、「新しいクラスに馴染めるだろうか」「授業についていけるだろうか」といった不安を抱えている生徒も多くなりました。入学当初はクラスに馴染めず、友達もいないため、学校に来ることがしんどかった生徒もいましたが、遠足をきっかけに友達もでき、クラス内での活動も参加できるように

なっています。担任・副担任だけのクラス運営に止まらず、学年全体を指導していこう、見守っていこうということや学年団の共通意識として、朝読から掃除まで取り組んでいます。

大きな目標の一つに「基礎学力の定着」があります。また、生徒たちの持つ可能性を最大限に引き出すために、高校のスタートである1年生はとて重要であり、責任を感じます。学年全体を上向きの軌道に乗せるために、早期に学習習慣を確立すると同時に高い志を持つことが大切だと考えています。まず、スタディーサポートを活用して、伸びることの喜びを感じてほしいと思います。6月16日からの個別面談週間で個々の生活習慣を見直し、生活実態に合わせた計画を立てさせ、夏休みの過ごし方まで自分なりの工夫で決められるよう面談をしたいと考えています。

高い志を持つためには進路目標を決定することが必要です。以前に比べて消極的な生徒が増えたように感じます。少しでも早く自分の進路目標を見つけられるように、今年度からベネッセの進路サポートを活用します。学習する過程で目標は変わるはずですが、だからこそ、たとえ目標が変わっても対応できる力を低学年のうちから積み上げていくことが大切だと考えています。

生徒を指導していくためには保護者の方のご協力が欠かせません。

今後とも宜しくお願ひします。

《高1 年間計画》

- 1学期
 - ・ 学習の意味・意義を理解
 - ・ 自己理解し、自己の興味・関心・適正の理解
 - ・ 働くこと、社会に出ることを考える
- 2学期
 - ・ 進みたい学部・学科について考える
- 3学期
 - ・ 入試について理解を深める
 - ・ 小論文について知る
 - ・ 志望理由書をまとめる

《高2》

学年主任

杉村秀樹

高校生活の中間地点に入った高校2年生では、部活動では中心として活躍する機会も増え、昨年度よりも充実した毎日を送っているようです。2年生になって三ヶ月程が過ぎたところですが、先日行われまして県体でも、団体に個人に多くの生徒の名前を新聞紙上に見ることができました。また、多くの生徒が生徒会活動に参加しているのもこの学年の特徴で、色々な先生方の御指導を仰ぎながら、より良い学校作りに取り組んでく

れています。

課外活動での活躍が卒業後の進路実現につながるように、学習や進路啓発にも意識を持って日々を過

ごさなければもったいないと思います。3年次になって推薦入試などに取り組むに当たって、自己推薦書、志望理由書等の重要な書類を目的にしたとき、あるいは面接試験対策に取り組んだときに、自分の良さや思いを上手く言葉にして伝えられるよう、行事がある毎に自分やクラスメートの頑張りを振り返って箇条書きでも良いので文字にして残していく取り組みを始めたいです。高校2年生は、主なものだけでも遠足から始まり学園祭、クラスマッチ、スキー研修旅行等、盛りだくさんの行事に取り組んでいくこととなります。おそらくは高校生活で最も楽しい1年になることだろうと思われれます。そのせつかくの充実した1年を「楽しかったんだけど、何したんだっけ？」ということにしないためにも、具体的な取り組みを意識していくことが重要だと考えています。

上に課外活動における活発さを記しましたとおり、良くも悪くもパワフルな生徒たちです。学習面においてそのパワフルさが、「ハメを外す」という面に表れてしまいうこともあり、授業規律の確立と進路への意識の啓発が今後の課題になってゆくと考えています。進路指導部や自立教育の行事を活用するとともに、クラスでの働きかけも必要であろうと思えます。将来の目標が明確になった子どもの目の色は違います。その背中をそっと押す試みをあれこれと続けたいかなければ、と考えています。

《高3》

学年主任
廣田 幸司

高校における進路選択は、決定すればそれでいいということではありません。合格切符を手にするまでの過程が今後の人生にも影響を及ぼしてくるものと思います。例えば

1. 継続した努力が続けられた結果、第一志望に合格
2. 継続した努力が続けられた結果、第一志望に不合格
3. あまり努力せず、第一志望に合格

の3つのタイプに分けて考えると、タイプ1が最も望ましいことです。タイプ2も、反省をすることができます。しかし、タイプ3は今後も同じ要領でいけると勘違いをして、楽な方向ばかり考える悪影響を及ぼす可能性があると思います。そこで、学年団としては、この学年から始まる新課程のために入試が変わり、システムの把握と学習等における継続の大切さを重視して進路指導に取り組んでいます。

まず、1年次は「職業または得意教科・科目からの文理選択」を進路指導の柱としました。1学期は、3年間の進路先決定の流れを説明し、資料を参考に「3年後の自分を想像してみよう（400字以内）」というテーマで作文を書きました。2学期には文系・理系

の選択に向けて「世界を見る」と「蛍雪時代（各クラスに置かれています）の読み方」の題で2週に渡り学年主催の講演会を実施しました。また、入試科目調査をもって各クラスで面談等を実施して文系・理系の選択を決定しました。次に、2年次は「夢」ではなく「目標」を掲げることを柱としました。

1学期は1年次の自分を振り返り、「10年後の自分を想像してみよう（400字以内）」というテーマで作文を書きました。その後、面談や2学期には学年集会で校長先生より「目標を描け/自分の目標を掲げよ」という演題で講演をしていただきました。

3年次は、「進路に向けて粘り強く取り組む」ことを柱としています。

1学期当初には「入試の心構え」をメインテーマに、国公立大・私立大・短大・専門学校・就職の5分野に分かれて学年主催の講演会を実施しました。生徒は第一希望のところで話を聞き、各クラスにおけるロングホームでは「進路アンケートおよび10年後の自分を想像しよう（800字以内）」を書きました。この話の内容は進路先が変更になっても対策ができるように学年便り6部に亘って掲載しています。その後は学校調査・比較シートで最終進路決定に向けての調査を各クラスでしました。推薦・一般いずれであっても学力をつけることが最優先です。

進路先を応援するために、5教科9科目の添削指導も5月初旬より開始しています。また、6月下旬より面接対策の練習も順次実施していきます。高3学年団は、生徒に寄り添った進路指導を図るために、クラス担任全員が講演会にて1回以上講師を務めました。今後粘り強く最後まで生徒に寄り添った進路指導を実施していきます。



eラーニング『すらら』の取り組み

英語科 すらら担当
福田佳子

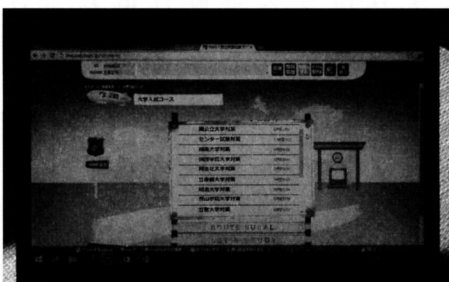
現在本校の中1・2と高1・2では、eラーニング「すらら」を使って英語の基礎力を固めると同時に、音声を含めた英語の運用能力を高める取り組みをしています。「すらら」では学習内容を細かく分けて、基礎から学び直しをしていきます。そのあと、それぞれの学習内容に即したドリル学習を通じて理解度を自分で確認できます。その最大の利点は、生徒一人ひとりが分からないところに戻って勉強のやり直しができることです。ドリル学習の途中で理解できていない部分があると、容赦なくさらに基本的なところに戻って問題が出題される「戻り機能」は、一人ひとりに専用のコピーが用意されているようなものです。繰り返し、わかっていないところまで戻って、徹底的に鍛えてくれます。いつまでもゴールにたどり着けずに「タイムアップ」になってしまうこともあり、いい加減なことはできません。

クラス担任や教科担当者は、学習管理画面を通して、一人ひとりの学習状況を定期的にチェックしています。与えられた課題にどれくらい時間をかけて取り組んでいるか、また、理解度はどうか、細かく確認しています。生徒たち

らの質問を受け付けることもできますし、逆に、先生方から、生徒一人ひとりに励ましのアナウンスを送ることもできます。するとそこから一気に生徒たちの取り組みが良くなることもあります。

英語に限らず、学習したことを自分のものにするには、継続的かつ自主的な学習習慣を確立していく事が必要になってきます。「すらら」の学習も、授業の中だけですべて勉強できるものではありません。家庭での学習や、放課後の学習を通じて、それぞれが課題を仕上げていき、その結果、盤石な基礎学力と学習習慣を身に付けてほしいと思います。

長期の休みにも「すらら」を使った課題を出しています。英語だけでなく、数学や国語の学習にも使えます。また、授業で確認しているレベルで飽き足らない人は、さらに高いレベルにも挑戦をしてほしいと考えています。

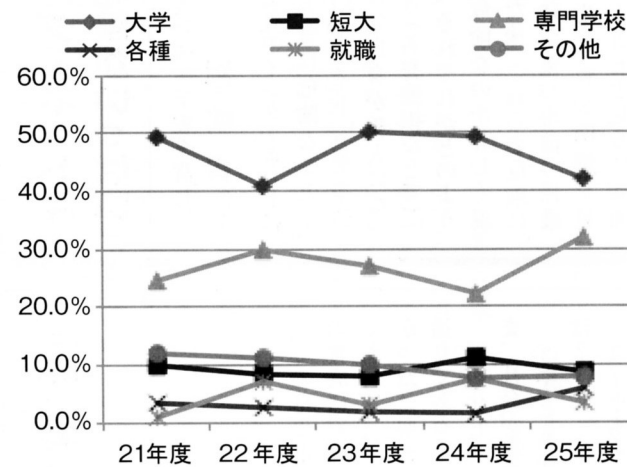


進学先の推移（現役数）

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
国公立大	9	5	9	11	6
私立大	106	93	104	111	91
短大	23	20	18	28	20
(学短)	(20)	(14)	(15)	(22)	(15)
専門学校	57	72	61	55	74
(高知リハ)	(26)	(26)	(18)	(19)	(31)
各種	8	6	4	4	14
就職	2	17	7	19	8
その他	28	27	22	19	18
卒業生	233	240	225	247	231

進学率の推移（現役）

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
大学	49.4%	40.8%	50.2%	49.4%	42.0%
短大	9.9%	8.3%	8.0%	11.3%	8.7%
専門学校	24.5%	30.0%	27.1%	22.3%	32.0%
各種	3.4%	2.5%	1.8%	1.6%	6.1%
就職	0.9%	7.1%	3.1%	7.7%	3.5%
その他	12.0%	11.3%	9.8%	7.7%	7.8%



平成26年度進路指導年間計画概要

	1年	2年	3年
4月	スタディーサポート（ハネッセ）	スタディーサポート（ハネッセ） S1・S2開始 (7・8限目補習)	進路希望調査 進路講演 実力判定テスト（ハネッセ） S1・S2開始
5月	S1開始 保護者対象講演会 第1回校外模試	保護者対象講演会 第1回校外模試	保護者対象講演会 第1回校外模試
6月	高知大学訪問 個別面談週間	高知大学訪問 個別面談週間 フェローシップ登録	高知大学訪問 第2回校外模試 個別面談週間 面接指導開始 フェローシップ
7月	県立大・工科大訪問 夏期補習	県立大・工科大訪問 夏期補習	県立大・工科大訪問 面接指導 フェローシップ 夏期補習
8月	夏期補習 県外大学訪問	夏期補習 県外大学訪問	夏期補習県外大学訪問 第3回校外模試 リハフェローシップ
9月	S1・S2開始 スタディーサポート	S1・S2開始 第1回校内模試	S2開始 指定校校内選考 第1回校内模試 センター試験登録 面接指導 第4回校外模試
10月	進路探し（進路サポート活用）	進路探し（事典活用）フェローシップ	面接指導 第5回校外模試 フェローシップ
11月	第2回校外模試 第1回基礎力テスト 個別面談週間	第2回校外模試 第2回校内模試 個別面談週間	面接指導 第6・7回校外模試 第2回校内模試 個別面談週間 リハフェローシップ
12月	冬期補習	フェローシップ 冬期補習	センター試験説明 リハフェローシップ 冬期補習
1月	S1・S2開始	S1・S2開始 センターチャレンジ	センター二次対策補習 センター試験・自己採点 リハフェローシップ
2月	第3回校外模試 第2回基礎力テスト	第3回校外模試 第3回校内模試	一般入試 国公立二次 リハフェローシップ
3月	春期補習	第4回校外模試 春期補習	リハフェローシップ

平成26年度入試 大学合格のべ数

埼玉大学	1	東洋大学	1	立命館大学	4	神戸国際大学	1
高知大学	4	日本大学	2	龍谷大学	2	姫路獨協大学	2
鹿屋体育大学	1	武蔵野大学	1	大阪大谷大学	1	兵庫大学	1
高知工科大学	1	明治学院大学	2	大阪学院大学	3	岡山商科大学	1
東京国際大学	1	目白大学	1	大阪観光大学	1	岡山理科大学	5
国際武道大学	2	立正大学	1	大阪芸術大学	3	川崎医科大学	1
順天堂大学	1	関東学院大学	1	大阪産業大学	2	川崎医療福祉大学	1
千葉工業大学	1	東海大学	1	関西外国語大学	3	吉備国際大学	1
亜細亜大学	2	金沢工業大学	1	関西大学	1	倉敷芸術科学大学	1
国土館大学	1	中部大学	1	近畿大学	8	美作大学	1
駒沢大学	1	名古屋学院大学	4	阪南大学	3	広島工業大学	7
芝浦工業大学	1	鈴鹿医療科学大学	1	桃山学院大学	2	徳島文理大学	5
昭和大学	1	京都外国語大学	1	関西学院大学	1	四国学院大学	3
拓殖大学	1	京都学園大学	1	関西国際大学	2	聖カタリナ大学	1
帝京大学	4	京都産業大学	2	神戸医療福祉大学	2	松山大学	12
東京農業大学	1	京都橘大学	3	神戸学院大学	2	九州産業大学	1
東洋学園大学	1	佛教大学	2	神戸芸術工科大学	10	第一薬科大学	1

進路部長 福島 敏

PTA総会・講演会

服育講演会 「服と社会性を考える」

講師 株式会社チクマ キャンパス事業部

有吉直美

毎年5月第2土曜日のPTA総会にあわせて開催してきた高校1年生・保護者対象の「服育講演会」も今年で10回を越えました。この講演会は校則として取り決められている制服の着こなし方を服装の基本的なルール、マナー、エチケットの観点から生徒自ら気づいてもらい、毎日の着こなしに活かす事を目的に株式会社チクマ様と協力をして、全国に先駆け企画したものです。

講演は服装の基本、「《time》P《place》O《occasion》」の意味から始まり、オンタイムとオフタイムの着こなしなどを本校生徒のモデルにも協力してもらいながら進められました。

どうしたら第1印象は良くなるの？
「留める」「締める」「結ぶ」
足が細く見えるスカートの着こなしは？
「スカートの裾を膝に」
それぞれの色が持つ意味は？
「ブルーは心を静める」「黒は強い意志」



《講師の有吉先生

からのお話は》

「服装は Non-verbal Communication 言葉はなくても何かを伝える力がある」という言葉で締めくくられました。わずか40分の講演でしたが、毎日当たり前前の気持ちで、しかし何気なく制服を着ている生徒の皆さんの心に変化が生まれたことを期待します。

(高校生徒部長 大崎基喜)

インターネットは危険がいっぱい

高知警察署生活安全課長

岡崎貞三

携帯電話インターネットにおいて非常に危険なことが、「出会い系サイト」「架空請求」「自分自身が犯人になってしまう(名誉毀損などで)」であり、それぞれがどのような点で危険なのか詳しく説明された後、これらの危険に対する防衛策や事前の保護者の対応(「料金明細を見る」「LINEを見る」「時間帯による使用制限」など)子どもとの間で使用内容を確認できるルールを決めておくなど)について述べられました。岡崎氏は、警察官としての自身の体験を絡ませながらインターネットの危険性について分かりやすく述べられ、参加した保護者や教職員は熱心に聞き入っていました。

(中学生徒部長 橋本達広)

講演 「子どものやる気をONにする」

家庭教育のヒント

講師 ベネッセコーポレーション

市場大樹

この日の市場氏の講演は、子供の育成に家庭の果たす役割も重要であるという貴重なお話をうかがった。要約すると、およそ次の通りである。

①変化していく環境においていま、社会が求めている力とは？
②子どもがいまやるべきことは？
③子どもの進路選択に対して、保護者はどのように向き合えばいいのか？

①に対しては、生きることが困難な時代に立ち向かうことが必要であり、社会の厳しい変化に対して学び続けることが求められる。社会から求められる力とは、前に踏み出す力(実行力)・考え抜く力(創造力)・チームで働く力(発言力・柔軟性・規律性)などであり、大学入試がゴールではなく、卒業後も成長を続けることが重要なすなわち、学歴より、学習歴ということである。

②については、進学先の先輩諸氏の声より、土台となる基礎学力と、学ぶ力を身につけることである。

そして③については、進路も入試もすべて基礎は生活からという

ことで、やる気をくれたのは保護者の言葉であるという内容であった。そのためにも保護者には子どもに程よいお節介もむしろ大切だという、子どものやる気を起こす声かけのすすめであった。それは、健康的なリズムをつくるのに協力すること、生徒の将来や受験に関心を持つこと。生徒と学校を信頼することであった。

バブル崩壊後の、この二十年以上とくにリーマン・ショック以降この五年あまりで、仕事や就職など、社会環境はますます厳しくなってきた。それとともに社会において活躍できる能力としての学習力が重視され、ひと昔前のような学歴や偏差値では評価されなくなりつつある。みずから生きる力を持つことこそ大切であり、それは受験勉強だけでは学べないことである。それゆえ、家庭が子どもに対して果たす役割も大切である。

そのことを教えてくださったのが、大学受験の中心であるベネッセという事実も、また意味が大きいのではないだろうか。

(自立教育推進委員長 西峯信隆)

平成26年度 高知高校県体成績

運動部長 大崎基喜

【団体】

優勝

- 男子柔道 (2年連続17度目)
- 男子剣道 (10年ぶり30度目)
- ライフル射撃 (3年連続7度目)
- 女子柔道 (2年連続2度目)
- 女子テニス (4年連続26度目)
- 女子剣道 (2年連続11度目)
- 女子体操 (2年ぶり12度目)
- 野球 (4校優勝)

準優勝

- 男子バレー
- 男子空手

ベスト4

- 男子テニス
- 男子サッカー

陸上

砲丸投げ 準優勝 新井

相撲

個人戦 予選敗退

卓球

男子団体予選A組1勝2敗 予選敗退

体操

- 男子 個人総合優勝 坂本 (2連覇)
- 種目別 跳馬・平行棒・鉄棒優勝
- 女子 団体総合 (2年ぶり12度目優勝) **優勝**
- 個人総合優勝 西本 (2連覇)
- 種目別 跳馬・段違い平行棒優勝

バスケットボール

- 男子 ●1回戦 対 土佐 47:69
- 女子 ●1回戦 対 中村 65:81

バレーボール

- 男子決勝トーナメント
 - 2回戦 対 宿毛 2:0
 - 準決勝 対 学芸 2:1
 - 決勝 対 高知商 1:3 **準優勝**
- 女子グループ戦 B組
 - 対 嶺北 0:2
 - 対 土佐塾 2:0 (予選通過)
- 決勝トーナメント
 - 1回戦 対 明德 0:2

剣道

- 男子団体
 - 2回戦 対 岡豊 3:0
 - 準々決勝 対 嶺北 2:1
 - 準決勝 対 高知商 3:2
 - 決勝 対 明德 2:1 **優勝**

(10年ぶり30度目優勝)

個人 弘瀬・田村 ベスト8

女子団体

- 準々決勝 対 土佐女 3:0
- 準決勝 対 高知商 3:0
- 決勝 対 明德 2:2

代表戦：市川 1:0 **優勝**

(2年連続11度目優勝)

個人優勝 市川、準優勝 兵等

柔道

- 男子団体予選A組2勝 1位通過
- 決勝トーナメント○1回戦 対 土佐 5:0
- 準決勝 対 南 4:1
- 決勝 対 岡豊 5:0 **優勝**

(2年連続17度目優勝)

- 個人 60キロ級 畠山 準優勝
- 66キロ級 藤田 準優勝
- 81キロ級 岡田 優勝 (3連覇)
- 100キロ級 福井 優勝
- 伊藤 準優勝

女子団体リーグ戦優勝 (2年連続2度目優勝)

- 対 南 2:1
- 対 中村 2:1
- 対 西 2:1
- 対 岡豊 2:1

優勝

個人 70キロ級 吉本 優勝

サッカー

- 1回戦 対 高知農 1:0
- 準決勝 対 中央 0:2
- 3位決定戦 対 西 2:3

弓道

- 男子団体 予選9位 予選敗退
- 女子団体 予選21位 予選敗退
- 個人 西川 決勝進出

テニス

- 男子団体○1回戦 対 南 3:0
- 準決勝 対 土佐 0:2 **ベスト4**
- ダブルス 準優勝 高橋・大崎
- 女子団体○準々決勝 対 西 3:0
- 準決勝 対 土佐塾 2:0
- 決勝 対 土佐 2:0 **優勝**

(4年連続26度目の優勝)

- シングルス 準優勝 西内 3位 前田
- ダブルス 優勝 西内・前田 準優勝 丸岡・専当

空手道

- 男子団体組手予選リーグB組1位
- 準決勝 対 高知工 5:0
- 決勝 対 明德 0:5 **準優勝**
- 個人組手ベスト4 大崎雅
- 女子個人組手ベスト4 清岡

ライフル射撃

- 男子ビームライフル立射 60発団体 **優勝**
- (3年連続7度目の優勝)
- 10メートルライフル立射 60発優勝 谷脇

軟式野球

- 1回戦 対 檜原 7:0
- 準々決勝 対 岡豊 8:3 以降雨天中止 (4校優勝)

優勝

ボクシング

ライト級優勝 中川

※水泳競技については、この時点では、まだ開催されて
おりません。

クラブ紹介

吹奏楽部

今年から木管楽器が編成に組み込まれ、新しいサウンドも楽しめるようになりました。

その吹奏楽部の演奏は、11月の「マーチングレビュー2014」でタップリと楽しむ事が出来ます。名前の通り、ステージ上で繰り広げられる華やかなマーチングショー。そして愉快的なショーや美しいガードショーなど盛りだくさんです。日時は下記の通り。お楽しみに！

- 日時：11月12日(水) 19:00～
- 場所：かるぽーと

また今年は2年ぶりにコンクールへ参加決定。四国枠1校をかけて、10月に善通寺市で演奏演技します。

一昨年まで6年連続全国出場。5年連続四国一の学園は、大会会場では注目の的。

毎年35人程度で60人～80人の高校生チームに勝つ演奏は、全国でも注目の有名校です。

7月からいろんな所で依頼演奏が増えてきます。何処かで急に私達の演奏に出会う事があるかもしれません。そんな時は、どうぞ足を止めて聴いてみて下さい。



(顧問 吉良 希英)



文芸部

- 第10回
高知県高等学校文芸会 参加予定
期日未定

ESSクラブ

現在、高校中・高等学校ESSクラブには中学生9名、高校生3名が在籍しています。

毎週ニュージーランド出身のスcott先生を講師にお迎えし、和気あいあいとした雰囲気の中、英語でカードゲームをするなど楽しくレッスンをしています。

授業外でネイティブの先生と話ができる貴重な場所であり、リスニング・スピーキング力をより鍛えるために所属しています。

また毎年英語弁論大会、スピーチコンテストにも出場しています。

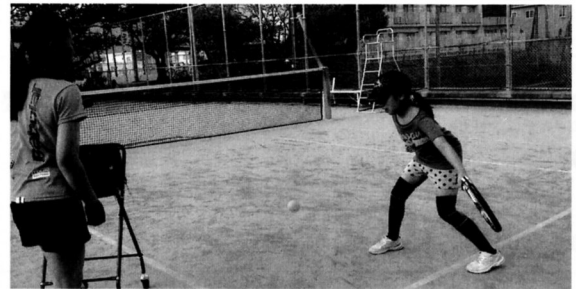
クラブ生の中には、他のクラブにも在籍しそれぞれの活動を両立させている生徒もいます。

英語に興味のある方、またこれから挑戦してみたい方、大歓迎です。

(顧問 大窪 真紀)

女子テニス

小学生(女の子)のための
チャレンジ・テニス教室開催中



今年4月から、中高女子テニス部が、小学生の女子を対象に、テニスの楽しさの普及と共に部員たちの成長を目的に、毎週月曜日(17:00～18:30)にテニス教室を行っています。この日ばかりは、日頃とは別世界のなごやかな雰囲気がコートに広がっています。3名から始まり今では10名まで仲間が増えました。初めての小学生も楽しみながらめきめき上達をしています。

後期教室受講生募集中です。ご希望、ご紹介は学校事務室(088-840-1111)までお願いします。

(顧問 松島 弥生)